

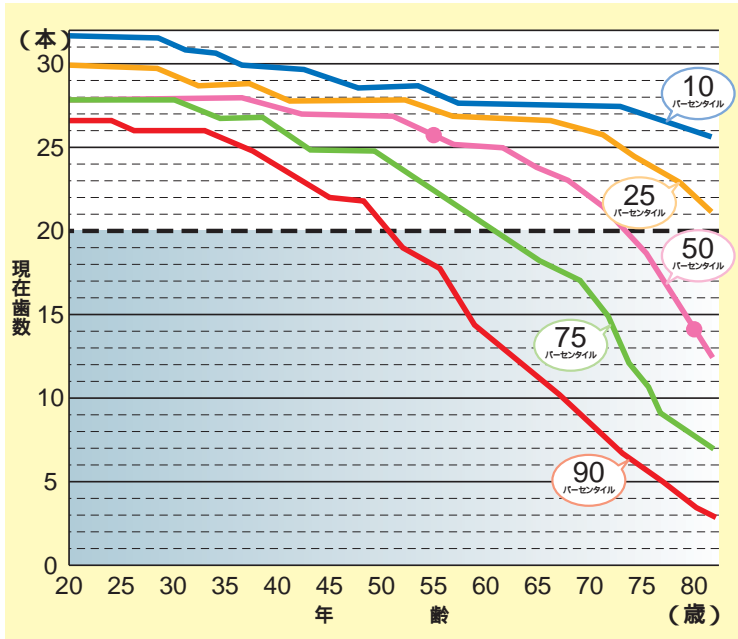


いつまでも健康な歯を



歯を失う原因となる歯周病。歯周病を予防することは、歯の寿命を延ばすことにもつながります。健康な歯を保つためにも歯周病検診を受けましょう。

将来、あなたの歯は何本残っているのでしょうか？



グラフの見かた

グラフは横軸が年齢、縦軸が現在の歯の数となっています。あなたの年齢と歯の数が交わる所に印をつけてください。例えば、55歳で歯の数が26本の方なら交わる点が50パーセンタイル()の曲線とほぼ重なります。

これは、同じ55歳の人たち100人の中で、歯の残っている数が、多い方から数えて50番目(真ん中)くらいであることを表しています。

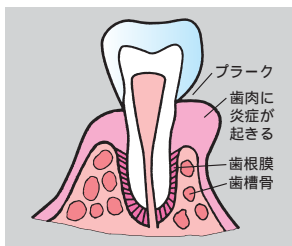
また、このペースで歯を失っていくと80歳で歯の数が14本くらいになる可能性が高いことも示しています。

パーセンタイル...ある集団100人の中での位置を表す単位です。50パーセンタイルなら100人中50番目を意味します。

歯周病はこうしておこり、静かにすすみます！

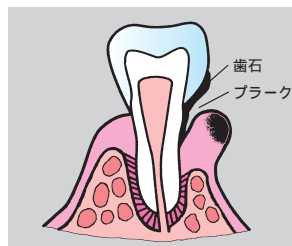
歯周病の原因は歯と歯ぐきの間にたまった歯垢(プラーク)の中にある歯周病菌です。

歯周病菌が歯ぐきにダメージを与え、少しずつ歯を支える組織を破壊していきますが、痛みなど自覚症状がほとんどないため、気付かないうちにひどくなるケースが多いです。



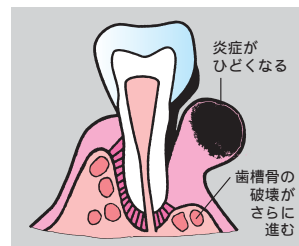
1期 歯肉炎

炎症が起き、赤く腫れるが見ただけでは分からないこともあります。



2期・3期 軽度~中等度歯周炎

歯ぐきから出血したり膿が出ます。歯周ポケットができ、歯槽骨の破壊が始まります。



4期 重度歯周炎

歯周病の末期症状。歯槽骨がほとんどなくなり、かむことができず、歯が抜けることもあります。

可児市歯周病検診

心筋梗塞や糖尿病など、歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることが分かっています。歯周病を早期発見するために、市は歯周病検診を実施しています。対象年齢は平成20年4月1日現在で40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳です。

個人負担金は500円です(生活保護法による保護を受けている世帯の人は無料)。



問合せ先 健康増進課